

## 江戸川台イーストリートプロジェクト報告書

## ●江戸川台イーストリートプロジェクトについて

江戸川台駅東口周辺地区の賑わいと魅力を創出するために江戸川台東口商店街の道路を活用するプロジェクト「江戸川台イーストリートプロジェクト」を実施しました。

## 1) プロジェクトの概要

江戸川台東口商店街の通りを歩行者専用道路とし、飲食のためのテーブル・イスを設置するなど、日常的に交流や滞在が生まれる空間づくり「江戸川台イーストリートプロジェクト」を5月16日(月)から29日(日)まで2週間実施しました。



位置図



実施風景

## 2) 期間中の取組み

プロジェクト期間中にイベントなど賑わいを創出する取組みが行われましたのでいくつかご紹介します。

## ふれあいマルシェ 5月22日(日)

布小物やアクセサリーなどハンドメイドの雑貨が並び、カレーやクレープなどのキッチンカーも出店しました。子ども連れの家族など多くの人にご来場いただきました。



## イーストリートナイトカフェ@江戸川台 5月27日(金)

商店街の沿道の居酒屋やバーなどが出店しました。お酒の提供もあり、大人な雰囲気イベントとなりました。仕事帰りに立ち寄っている人や家族連れなどで賑わっていました。



## 【その他の主な取組み】



## ●江戸川台イーストリートプロジェクトに関する調査

江戸川台イーストリートプロジェクトの評価のための調査として、交通量調査・アンケート調査・居心地調査を実施しました。

### 1) 交通量調査

プロジェクト実施前と実施中の自動車・歩行者等の通行状況を調査・比較し、周辺道路の状況及び影響を検証しました。

#### 1. 自動車

②の通りの通行量：台

平日	実施前	実施中	増減
通常時 (12時間)	2,112	2,317	+205
ピーク時 (7時台)	243	272	+29



- ・商店街通りを通行止めにしても自動車交通への影響やトラブルは生じませんでした
- ・②の交通量は大きな変化は無くピーク時間帯でも29台の増加のみでした
- ・江戸川台東一丁目交差点の渋滞等は生じませんでした

#### 2. 歩行者

①商店街通りの通行量：人

実施日	調査時間	実施前	実施中	増減
R3/10/5(火) (通常時・平日)	12時間	2,632	3,680	+1,056
5/22(日) (ふれあいマルシェ)	12時間	—	10,702	+10,702
5/27(金) (ナイトカフェ)	4時間	—	9,056	+9,056



- ・イベント等を実施していない平日でも歩行者の通行量は1日で1,000人以上の大幅な増加がみられました
- ・マルシェ、ナイトカフェ実施日は、約1万人の通行量がみられました

## 2) アンケート調査

プロジェクトに関するアンケート調査を江戸川台東口商店街への来訪者、自転車利用者、沿道商業者を対象に実施しました。(令和4年8月1日時点の結果)

### 1. 来訪者アンケート結果

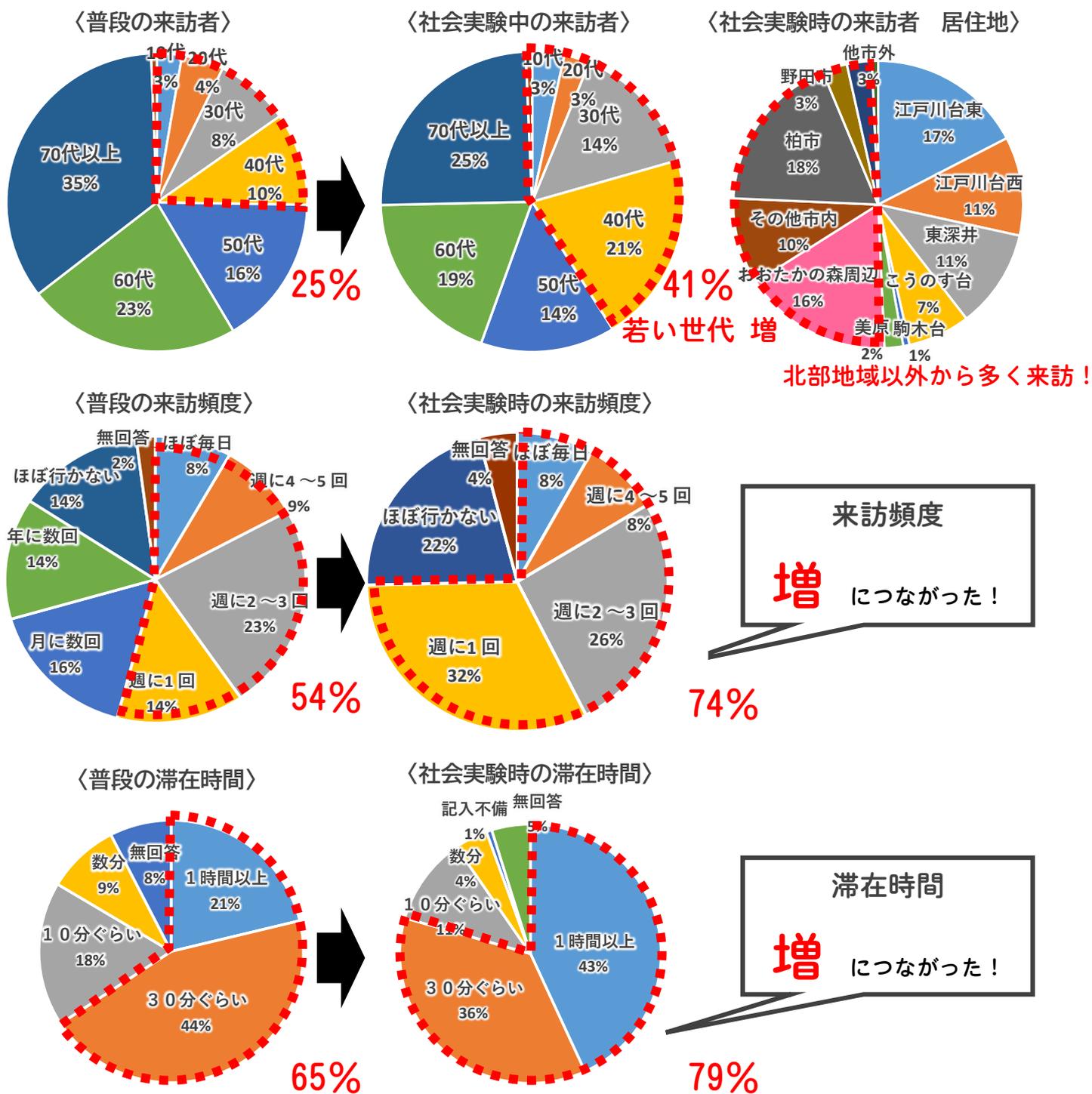
配布数：封筒300通 ※1封筒につき調査票3票配布。1人1票回答。

回収数：封筒113通(調査票146票)

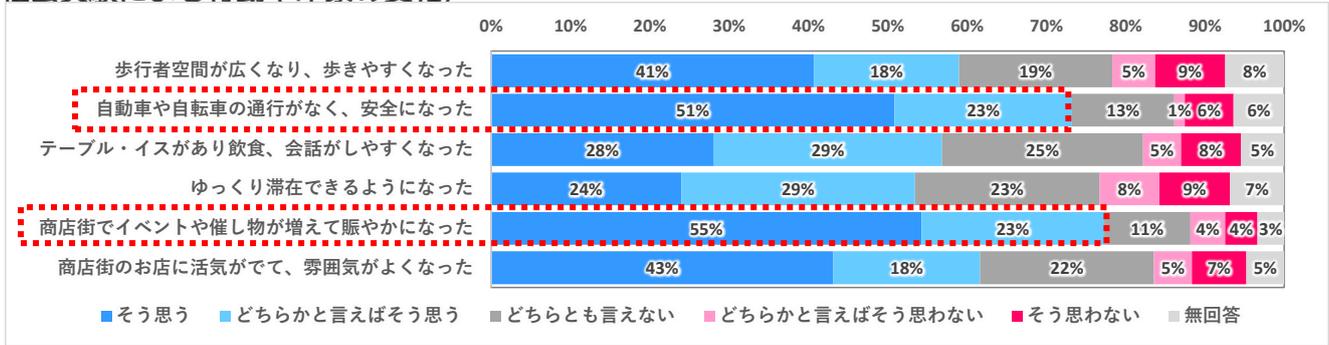
回収率：封筒38%

実施日：5/22(日)、5/24(火)

調査方法：商店街来訪者へ直接配布、郵送回収

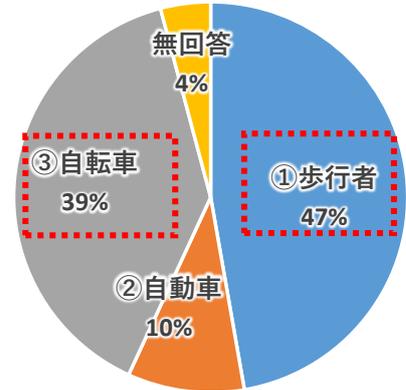


〈社会実験による行動や印象の変化〉

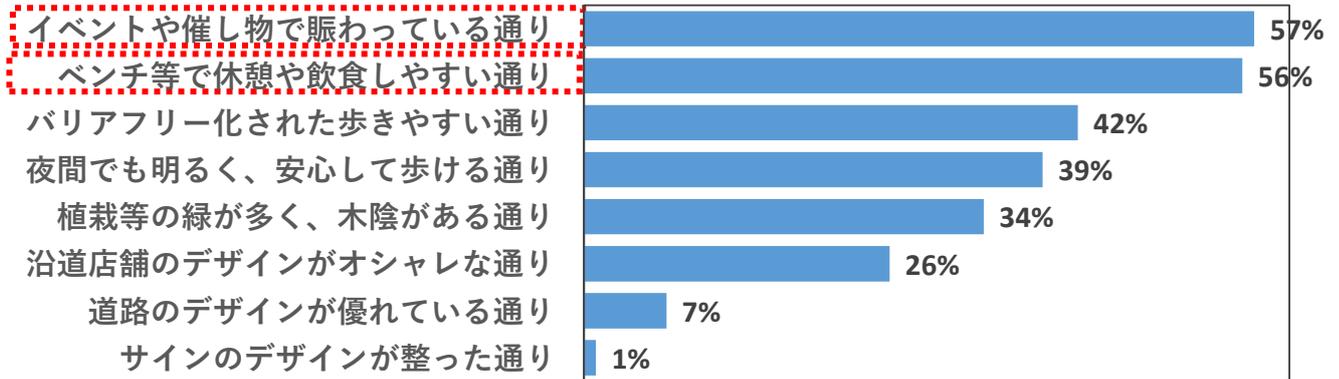


〈今後、商店街通りが、どの手段で来やすい通りになったらよいか〉

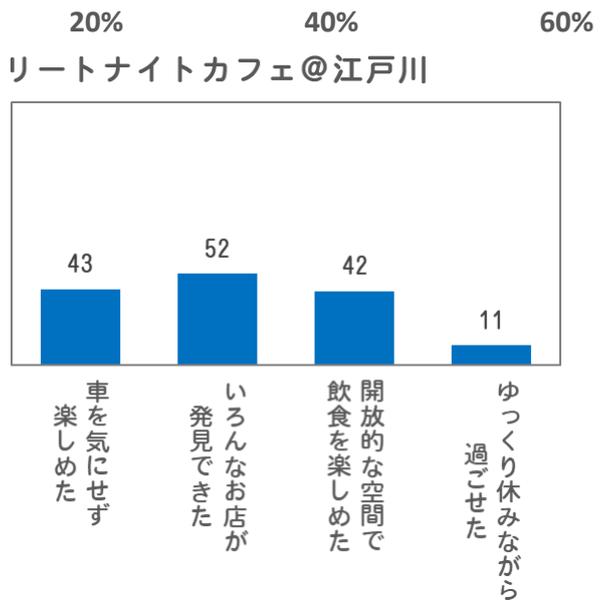
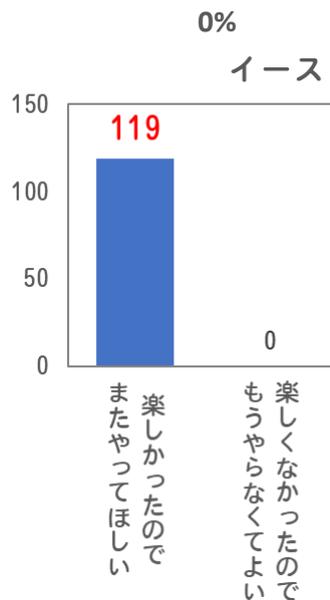
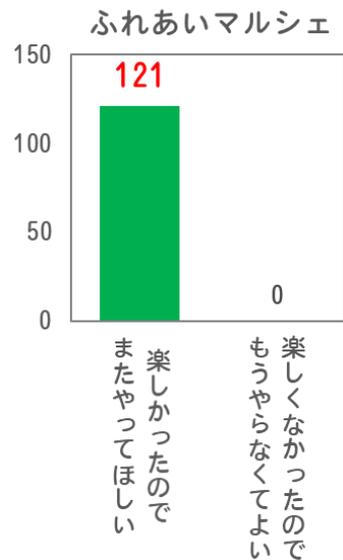
- ① **歩行者**が歩きやすく過ごしやすい
- ② 自動車やバイクで店舗前まで乗り付けられる通り
- ③ **自転車**で店舗前まで乗り付けられる通り



〈今後、商店街通りが、どのような設えの通りになったらよいか〉



〈現地アンケート〉



プロジェクト期間中に開催されたふれあいマルシェ・ナイトカフェのアンケート調査を現地で行いました。回答した全ての方から「楽しかったのでまたやってほしい」とのご意見をいただきました。

## 2. 自転車利用者アンケート結果

配布数：273票

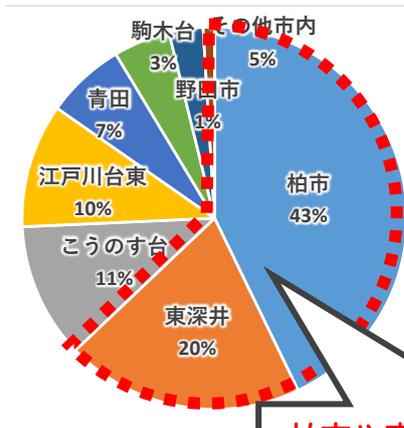
回収数：111票

回収率：41%

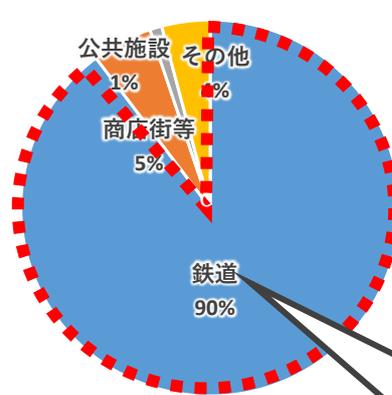
実施日：5/22（日）、5/24（火）、5/29（日）

調査方法：駐輪場利用者へ直接配布、郵送回収

〈自転車利用者 居住地〉



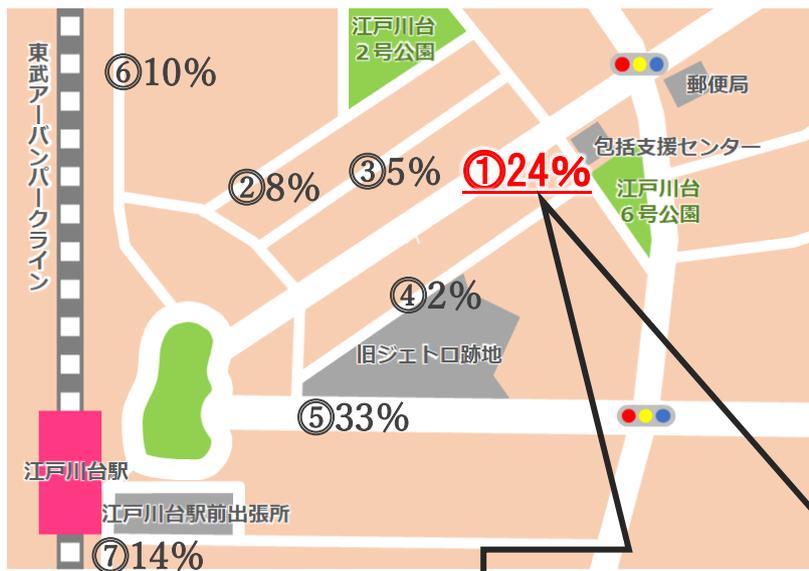
〈自転車利用者 利用目的〉



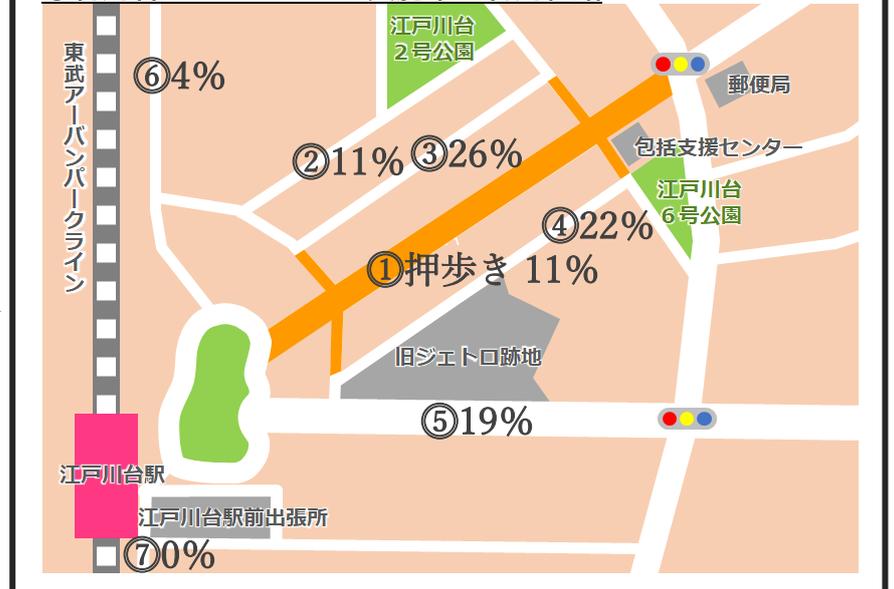
柏市や東深井からの利用が多い！

鉄道利用者が多い！

〈自転車利用者 利用経路〉



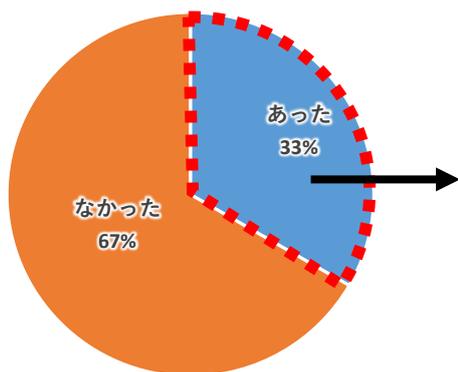
①利用者のプロジェクト実施中の利用経路



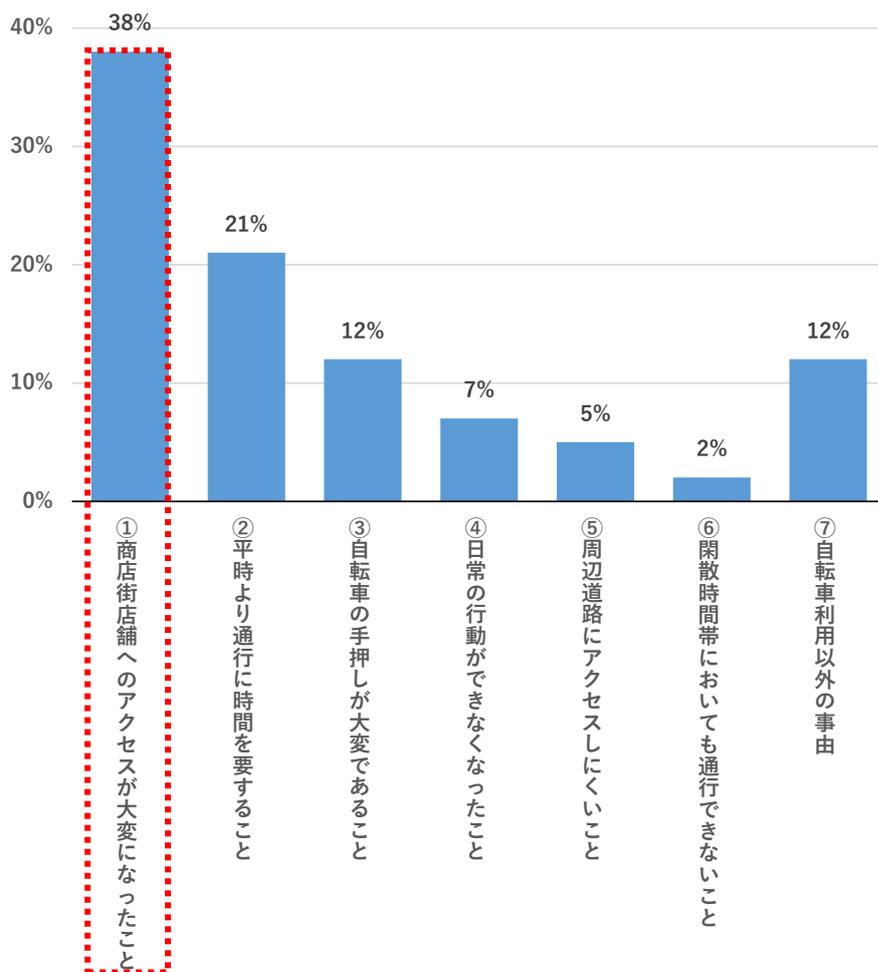
①を走行していた人が

②～⑥に分散した！

### 〈車両通行止にして困ったこと〉



### 〈具体的な内容〉



30%の方から社会実験で困ったことがあったと回答されました。その具体的な内容は、「商店街店舗へのアクセスが大変になったこと」が最も多くなっています。

### 3. 沿道商業者等アンケート調査結果

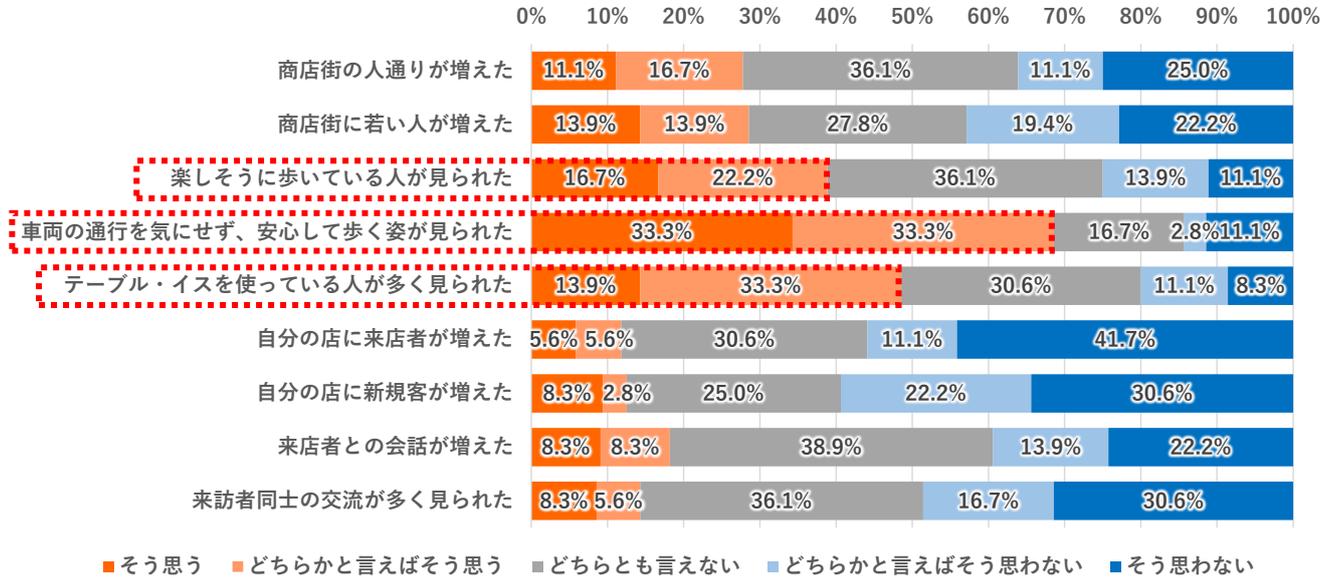
配布数：81票

回収数：38票

回収率：47%

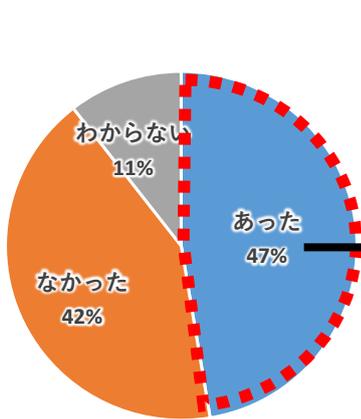
調査方法：沿道店舗へ直接配布・ポスティング、郵送回収

#### 〈社会実験の感想〉

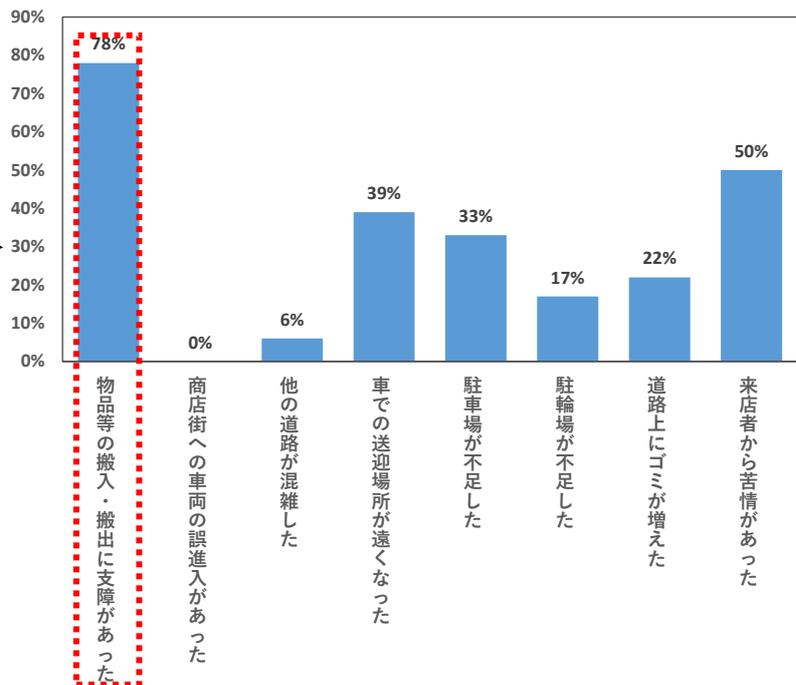


商店街の通りを歩行者専用道路化し、テーブル・イスを常設したことで車両の通行を気にせず、楽しく安心して歩く姿が見られたと感じています。

#### 〈社会実験で困ったこと〉



#### 〈具体的な内容〉



商業者等の約半数から社会実験で困ったことがあったと回答されました。その具体的な内容は、「物品等の搬入・搬出に支障があった」が最も多くなっています。

### 3) 居心地調査

国土交通省の「まちなかの居心地の良さを測る指標(案)」に基づき、居心地調査を実施しました。

居心地調査とは、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかを形成するため、まちなかの状況を歩きながら把握し、来訪者の行動や感情を測る調査です。

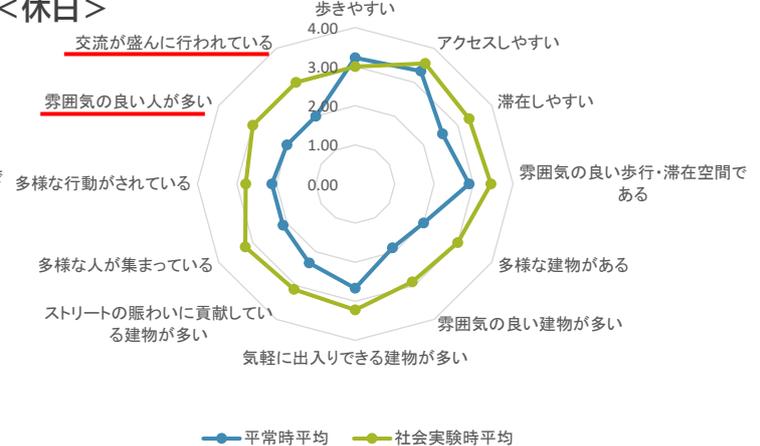
通行者や滞在者の行動や快適性などを調査した総合評価は下記のグラフのようになっています。

#### 1. 商店街通りと沿道の環境に関する評価

<平日>



<休日>

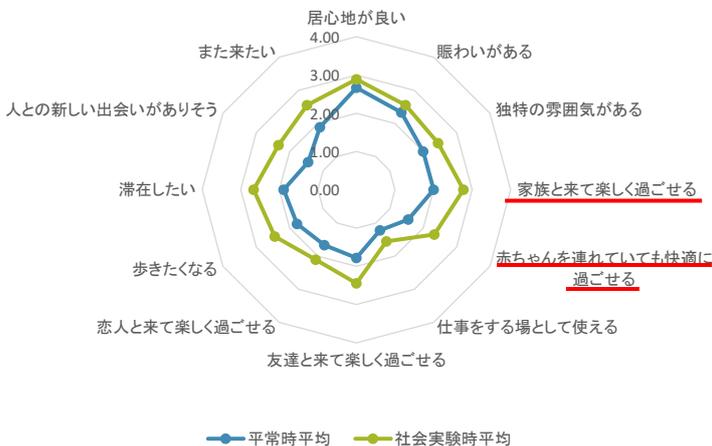


プロジェクト実施により、平常時に比べて、「滞在しやすい」が高い評価となりました。

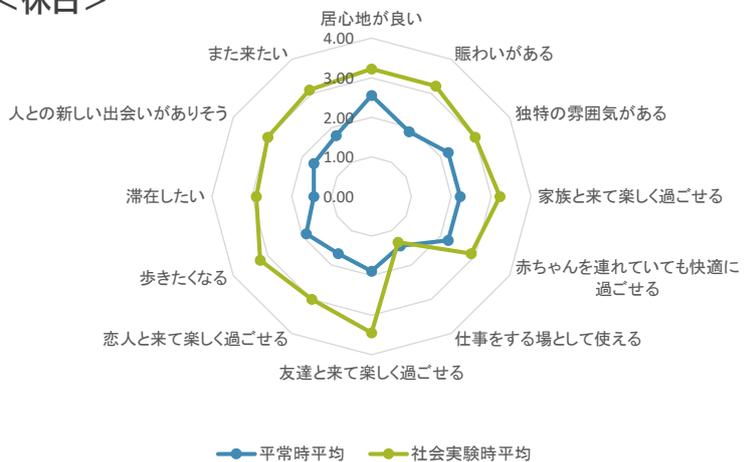
平常時に比べ、全体的に評価が高くなりました。特に「雰囲気の良い人が多い」、「交流が盛んに行われている」などの評価が高くなりました。平日に比べ、休日の評価が大幅に高い傾向にあります。

#### 2. 商店街通りと沿道の魅力に関する評価

<平日>



<休日>



平常時に比べ、「家族と来て楽しく過ごせる」「赤ちゃんを連れていても快適に過ごせる」の評価が特に高くなりました。

平常時に比べ、全体的に評価が高くなりました。平日に比べ、休日の評価が大幅に高い傾向にあります。

今回の江戸川台イーストストリートプロジェクトでは多くの方に来場いただきました。いただいたご意見等は今後の江戸川台駅東口周辺地区の再整備に活かしていきます。

まちづくり推進課 ☎04-7150-6090

令和4年8月25日作成

## 江戸川台イーストリートプロジェクト SEASON 2 結果報告書

江戸川台駅東口周辺地区の賑わいと魅力を創出するために江戸川台東口商店街の道路を活用するプロジェクトが実施されました。

### 1) プロジェクトの概要

江戸川台東口商店街の通りを歩行者専用道路とし、飲食のためのテーブル・イスを設置するなど、日常的に交流や滞在が生まれる空間づくり「江戸川台イーストリートプロジェクト SEASON 2」が、地元商店街・市民の有志・市のサポートにより11月14日(月)から27日(日)まで2週間実施されました。



### 2) 期間中の取組

テーブル・イスの活用や食べ歩きを通して、日常的に人が楽しく集い、賑わう場所になるよう様々な取組を行いました。プロジェクト期間中の江戸川台東口商店街での過ごし方をいくつかご紹介します。

#### 食べ歩きや居心地のよい滞在空間の創出



食べ歩き



チョークアート



アーケード看板統一



江ーポンひそひそポスター

#### 道路にファニチャーを設置し、ゆっくり過ごせるまちのリビングルームの創出



芝で遊ぶ



卓球台で遊ぶ



ちよこっとシアター



仕事をする



作品に座る



はじめてのおつかい

買いものできた



理科大生ワークショップ



江戸川台書店

紙芝居

私の〇冊

プロジェクト期間中たくさんの方々に来訪いただきました。来訪いただいた方々ありがとうございました。

# 江戸川台イーストリートプロジェクト SEASON 2 に関する調査報告書

## ●江戸川台イーストリートプロジェクト SEASON 2 に関する調査

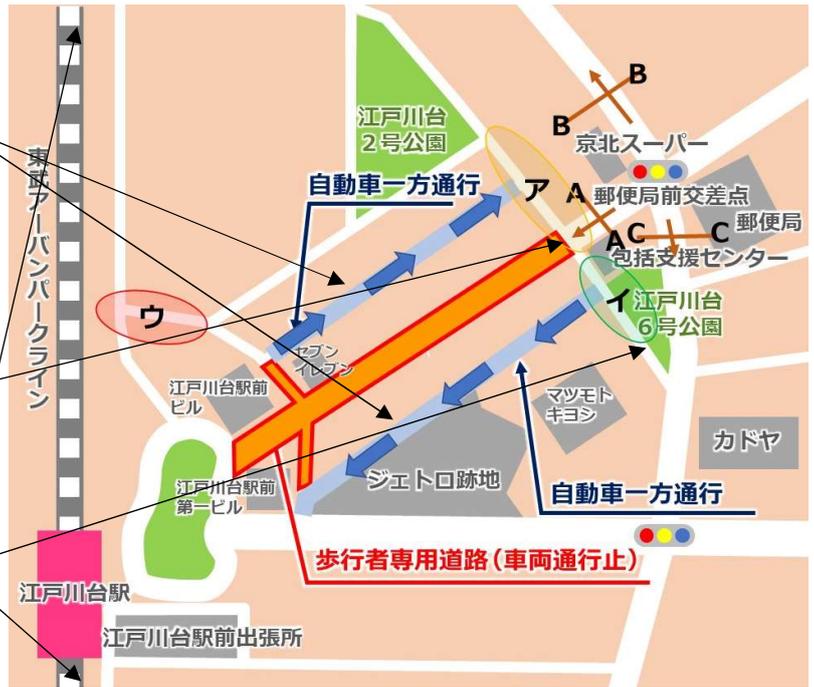
江戸川台イーストリートプロジェクト SEASON 2 の評価のための調査として、交通量調査・アンケート調査・居心地調査を実施しました。

### 1) 交通量調査

プロジェクト実施前と実施中の自動車・歩行者等の通行状況を調査・比較し、周辺道路の状況及び影響を検証しました。また、前回（令和4年5月実施）の課題を踏まえ、前回から実施方法を変更しているところについても検証を行いました。

〈プロジェクト SEASON 2 での取組（前回からの変更点）〉

- 商店街と平行する裏通りを一方通行  
⇒搬入・搬出車両等の安全性・円滑性確保
- 歩行者専用道路区間の変更  
⇒北側地域から柏方面・おおたかの森方面へのアクセス性確保
- 臨時駐輪場の常設  
⇒自転車での商店街来訪者への対応



### 1. 郵便局前交差点の自動車流出交通状況

商店街通りを車両通行止にしたことで周辺道路に影響がなかったか検証をしました。

A 断面 平日	実施前 R3/10/5(火)	今回実験 R4/11/22(火)	増減
調査時間 (12 時間)	400 台	72 台	-328 台
ピーク時間 (18 時台)	52 台	4 台	-48 台

B 断面 平日	実施前 R3/10/5(火)	今回実験 R4/11/22(火)	増減
調査時間 (12 時間)	1,930 台	1,771 台	-159 台
ピーク時間 (13 時台)	179 台	152 台	-27 台

C 断面 平日	実施前 R3/10/5(火)	今回実験 R4/11/22(火)	増減
調査時間 (12 時間)	2,739 台	2,771 台	+32 台
ピーク時間 (18 時台)	271 台	223 台	-48 台

- ・郵便局前交差点の通行量は12時間で減少または同等であり、ピーク時ではどの断面も交通量が減少している。B断面、C断面における流出車も混雑することなく、自動車交通へのトラブルは生じませんでした。
- ・商店街通りを通行止にしても自動車交通への影響やトラブルは生じませんでした。

## 2. 商店街規制区間周辺の通行車両（自動車）の状況

前回の課題を踏まえ、前回から実施方法を変更した箇所周辺について、路上駐車やUターンなど普段と異なる交通状況の発生について確認しました。

### ア周辺

実施日	通行台数	路駐や Uターンなど
平日(7-19時)	57台	8台
休日(7-19時)	40台	9台

### イ周辺

実施日	通行台数	路駐や Uターンなど
平日(7-19時)	70台	24台
休日(7-19時)	58台	10台

### ウ周辺

実施日	通行台数	路駐や Uターンなど
平日(7-19時)	605台	5台
休日(7-19時)	454台	1台

- ・ア～ウ周辺を通行していた車両の一部で普段と異なる交通状況（路上駐車、Uターン、一方通行逆走、迷っている車）などの状況がみられましたが、大きなトラブルは生じませんでした。

## 3. 商店街通りの歩行者の状況

プロジェクト実施前と実施中の商店街通りの通行状況を調査・比較しました。

実施日	実施前 R3/10/5(火)	今回実験 R4/11/22(火)	増減
平日(10-20時)	2,632人	3,096人	+464人

- ・平日の歩行者通行量は1日で464人の増加がみられ、普段よりも賑わっていました。

## 2) アンケート調査

プロジェクトに関するアンケート調査を江戸川台東口商店街への来訪者、イベント来訪者、沿道商業者を対象に実施しました。

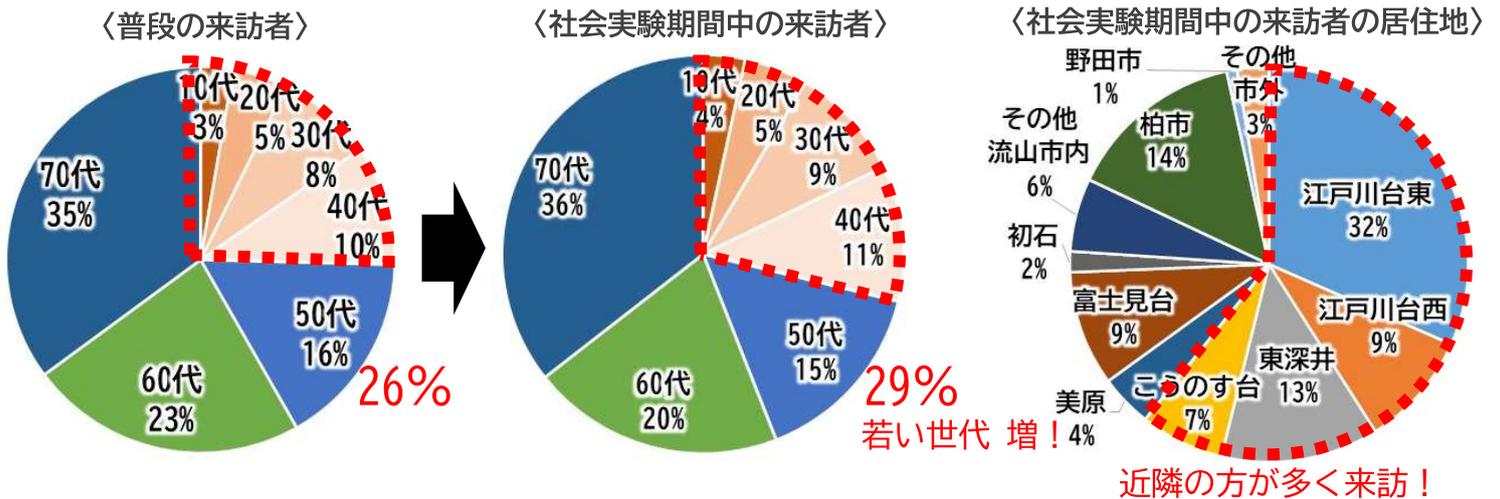
### 1. 来訪者アンケート

配布数：封筒300通 ※1封筒につき調査票3票配布。1人1票回答。

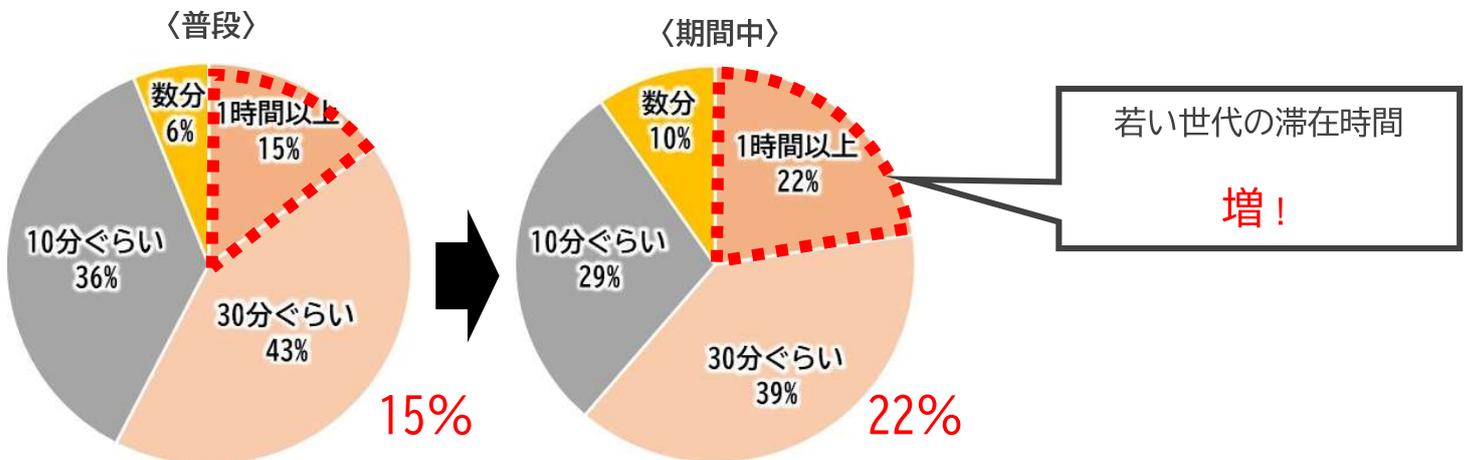
回収数：調査票118票（WEB回答含む）

実施日：11/20（日）、11/22（火）、11/25（金）

調査方法：商店街来訪者へ直接配布、郵送回収

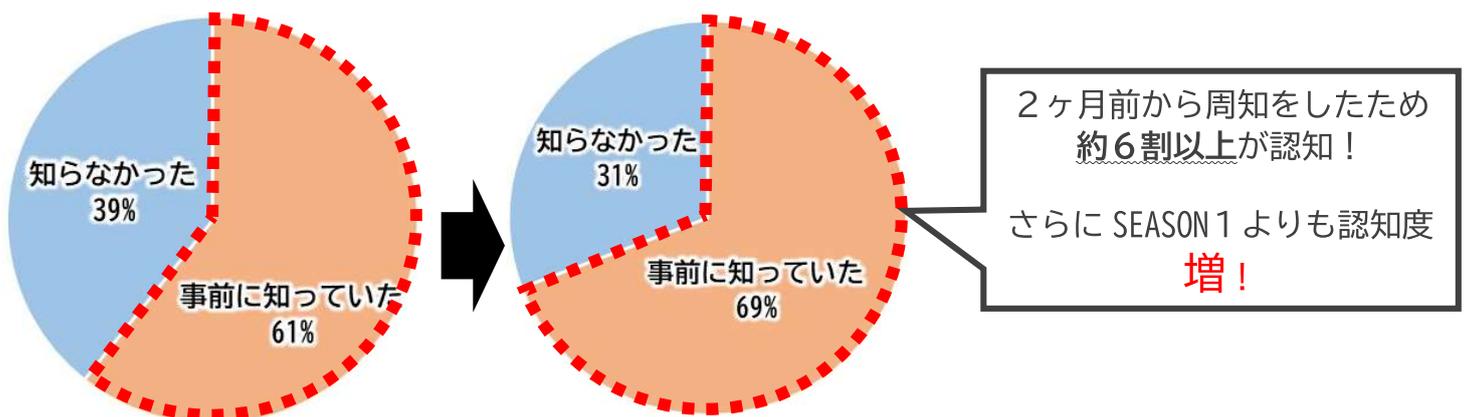


### 〈10～40代の滞在時間〉

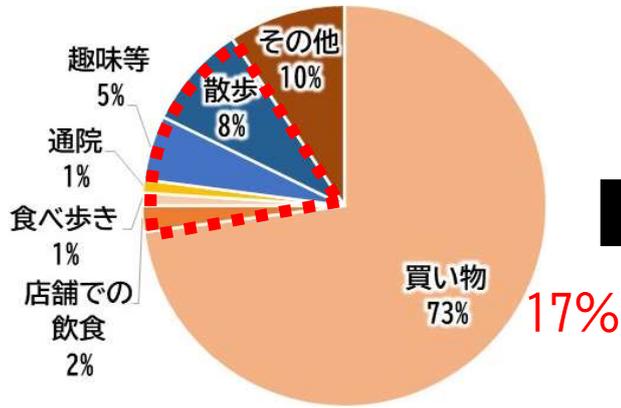


### 〈SEASON 1 の認知度〉

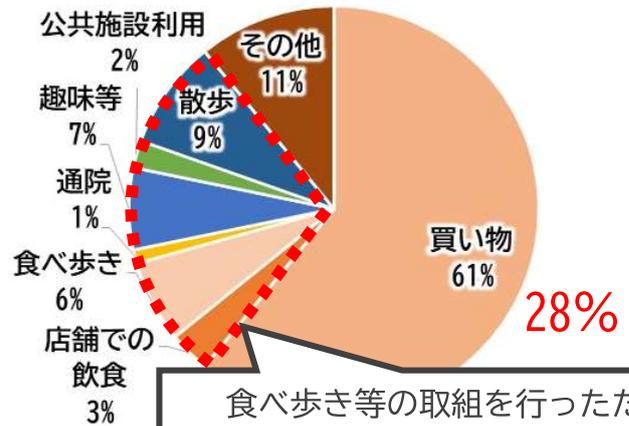
### 〈SEASON 2 の認知度〉



〈普段商店街に来る目的〉

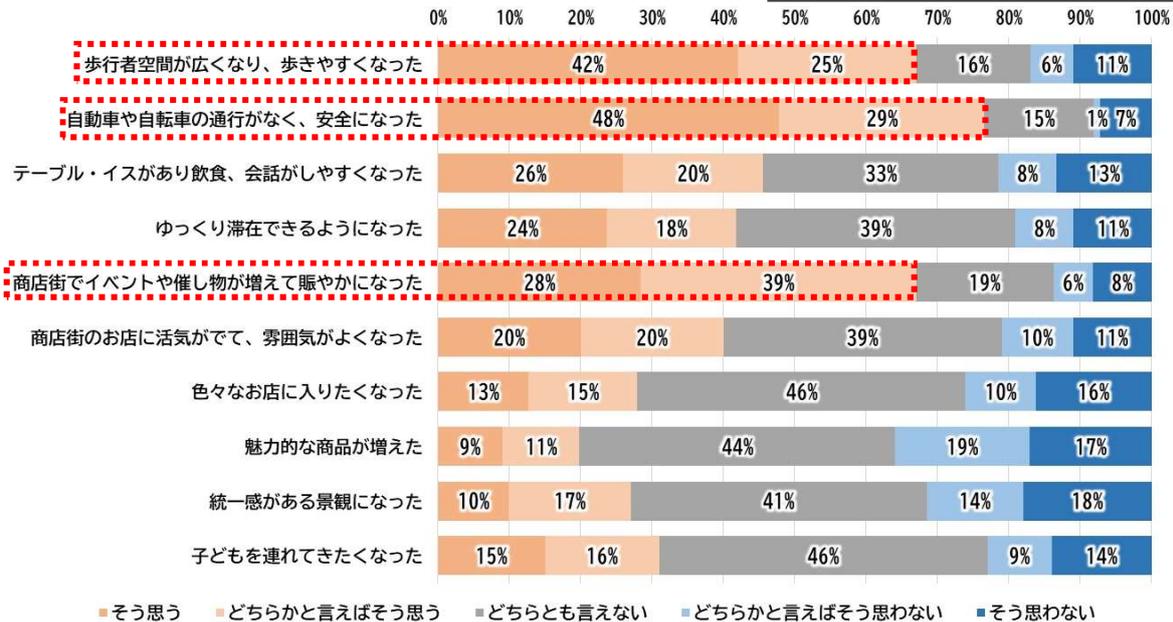


〈社会実験期間中商店街に来た目的〉



食べ歩き等の取組を行ったため  
様々な目的での来訪が**増**！  
特に食べ歩きをしている人**増**！

〈プロジェクトによる行動及び印象の変化〉



「自動車や自転車の通行がなく、安全になった」「歩行者空間が広くなり、歩きやすくなった」「商店街でイベントや催し物が増えて賑やかになった」という意見が多くなっています。

〈その他自由意見〉

肯定的な意見	回答数
イベントが良かった	12件
車両通行止が良かった	3件

否定的な意見	主な理由	回答数
既存店舗に不満		5件
自転車利用者が車両通行止に不満	駅までの通行が不便	1件
	商店街でのアクセスが悪い	2件
自動車利用者が車両通行止に不満	駅までの送迎が不便	2件
イベントに不満		2件
社会実験の趣旨に不満		2件
飲食スペースに不満		1件

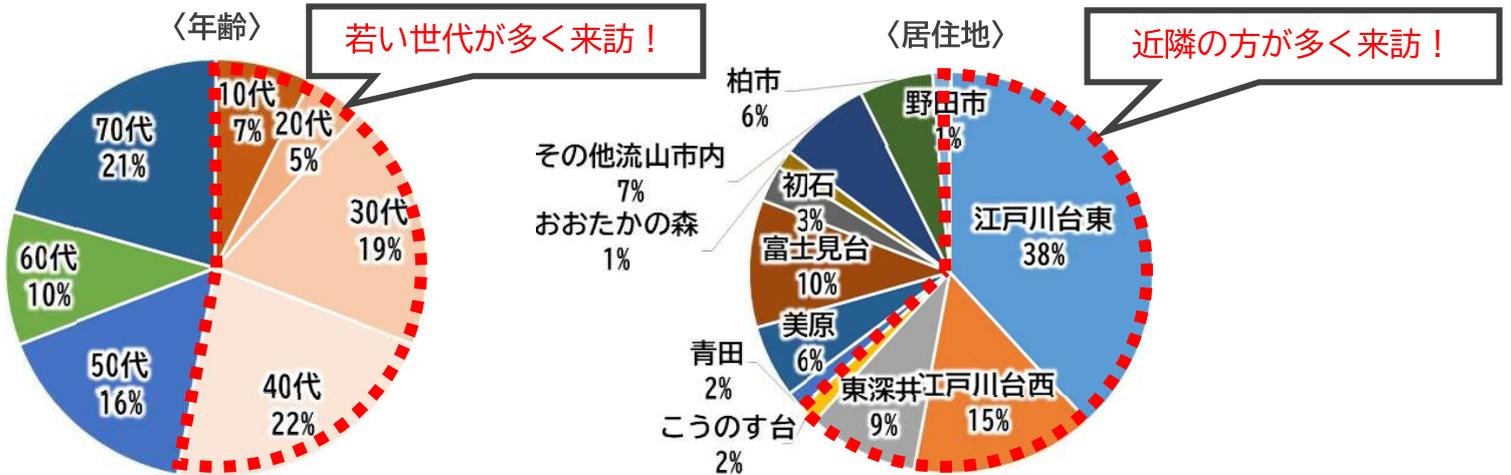
## 2. イベント来訪者アンケート

配布数：封筒250通 ※1封筒につき調査票2票配布。1人1票回答。

回収数：調査票69票(WEB回答含む)

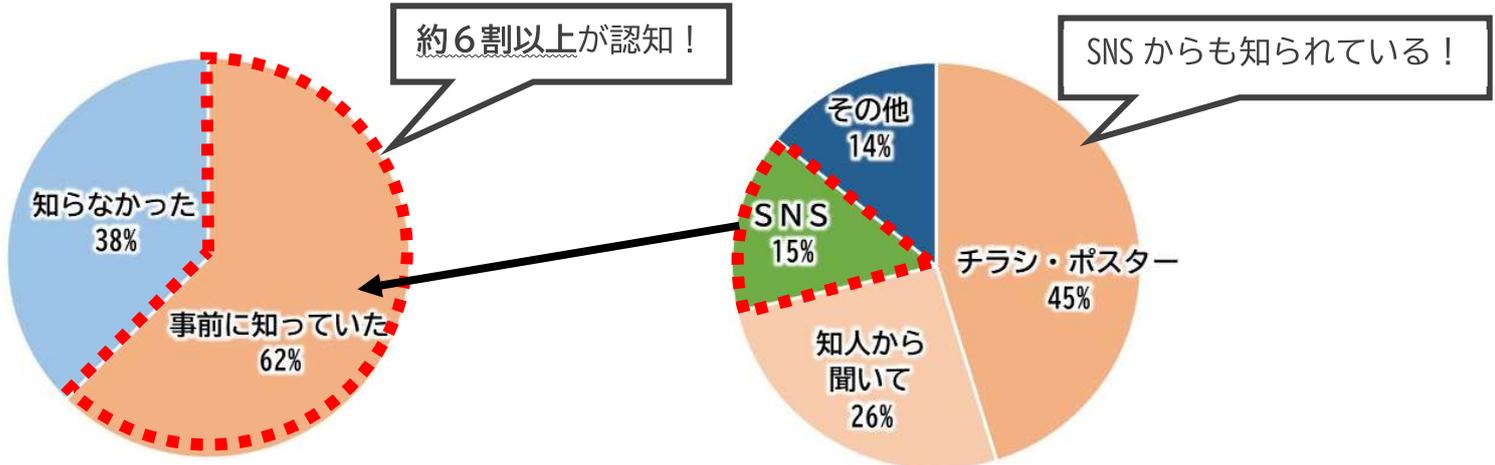
実施日：11/20(日)、11/25(金)

調査方法：商店街来訪者へ直接配布、郵送回収

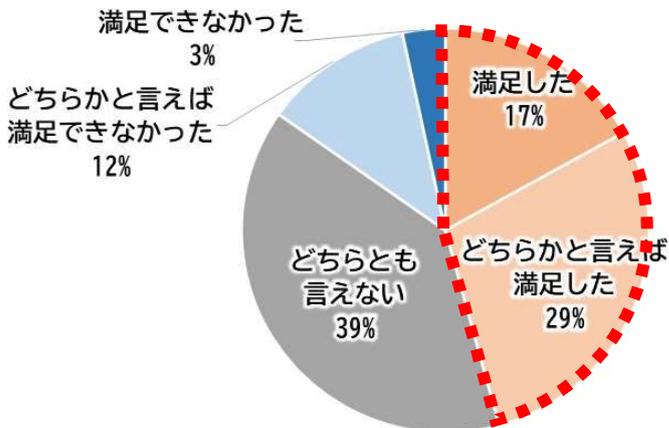


〈イベントの認知度〉

〈イベントについて何で知ったか〉



〈イベントの満足度〉



満足した	回答数
催し物を楽しめた	2件
江戸川台地区ではあまりない珍しさがあったから	2件
賑わいを感じられた	1件
満足しなかった	回答数
催し物が不満であったから	1件
出店が少なかったから	1件

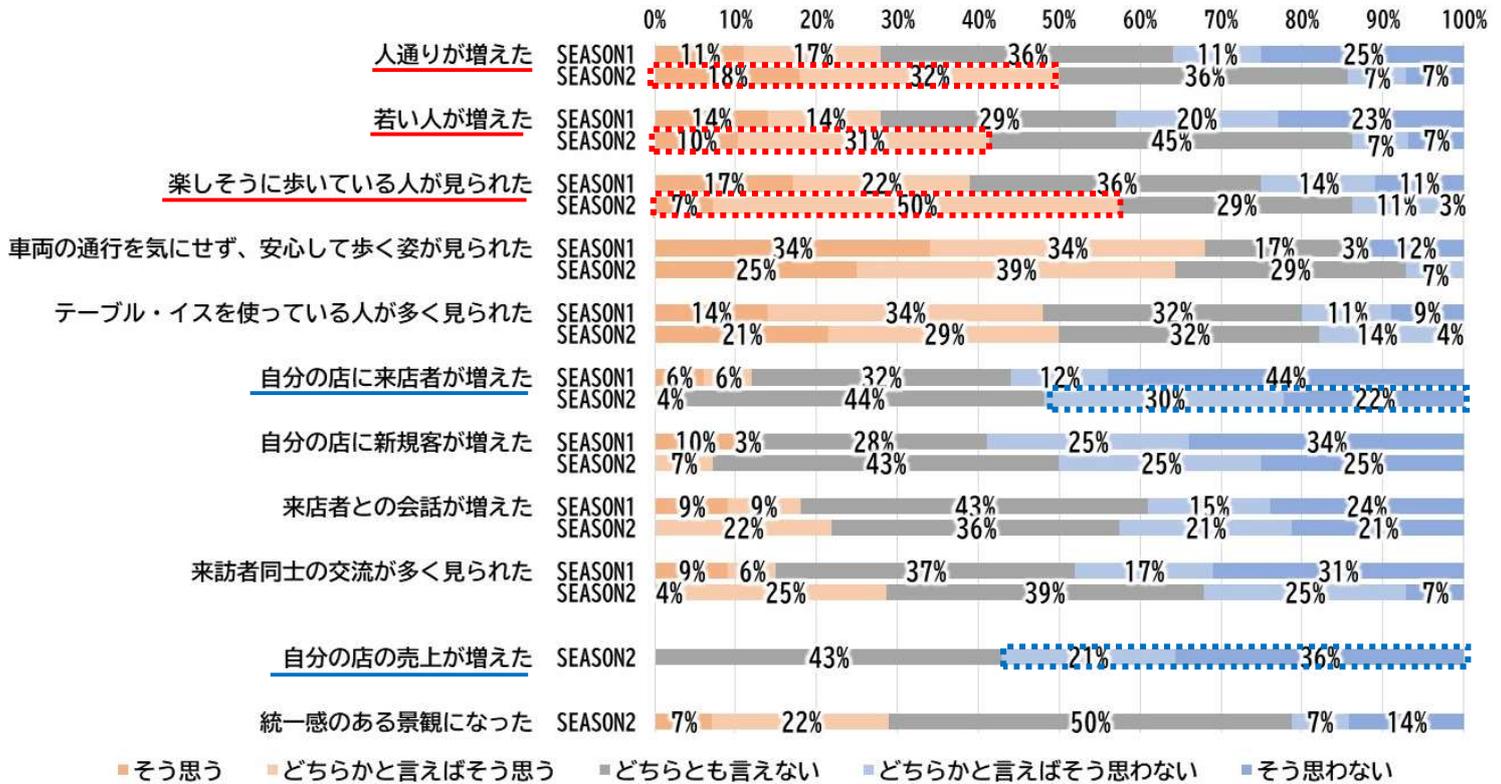
### 3. 店舗営業者アンケート

配布数：封筒 83 通

回収数：調査票 31 票

調査方法：店舗営業者へ直接配布、郵送回収

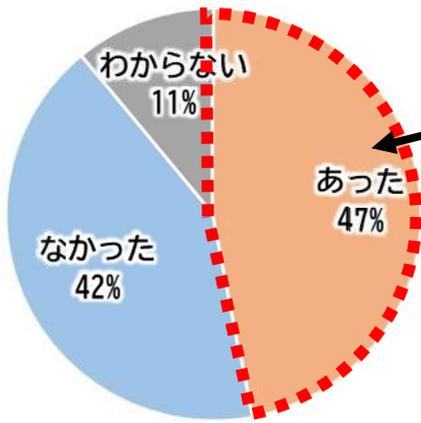
〈プロジェクトについて〉



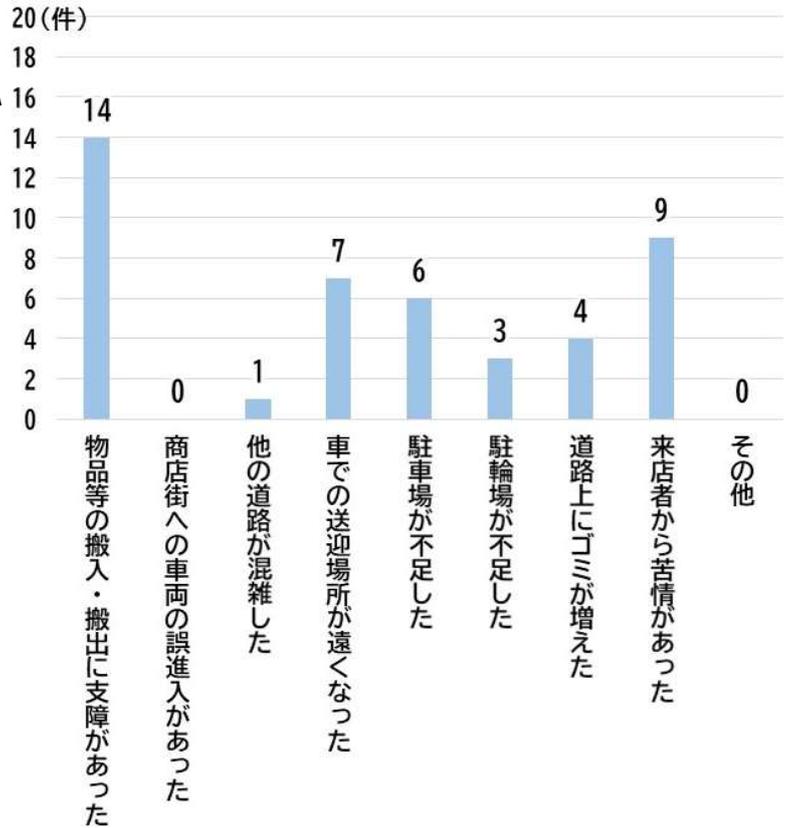
- ・ SEASON 1、SEASON 2ともに「来訪者が車両の通行を気にせず、安心して歩く姿が見られた」という意見が多くなっています。
- ・ SEASON 2では「人通りが増えた」「楽しそうに歩いている人が見られた」「若い人が増えた」という意見が SEASON 1 よりも多くなっています。
- ・ SEASON 2では沿道店舗の売上につながるような取組を行いました。が、「自分の店の売上が増えた」「自分の店に来店者が増えた」という意見が少なくなっており、効果があまり感じられなかったと感じています。

〈社会実験期間中困ったことがあったか〉

〈SEASON 1〉

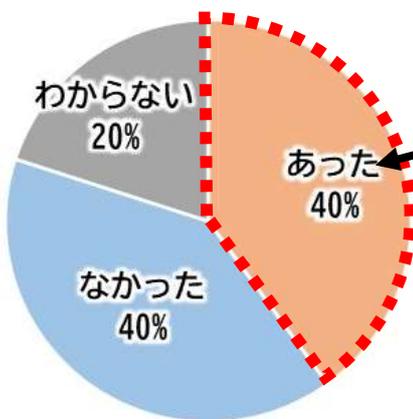


〈どんなことに困ったか〉

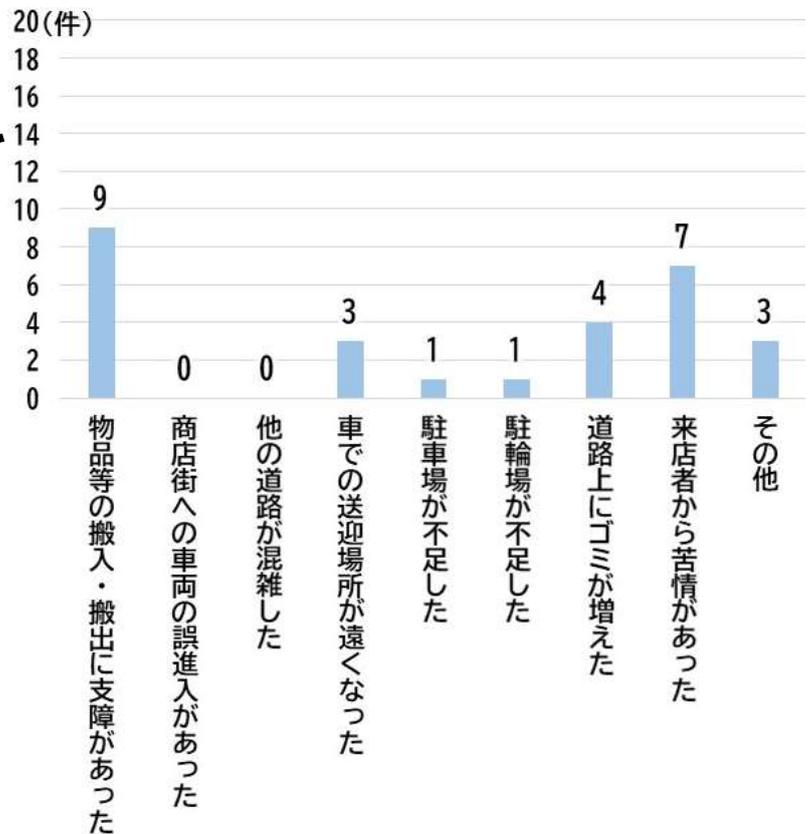


〈社会実験期間中困ったことがあったか〉

〈SEASON 2〉



〈どんなことに困ったか〉



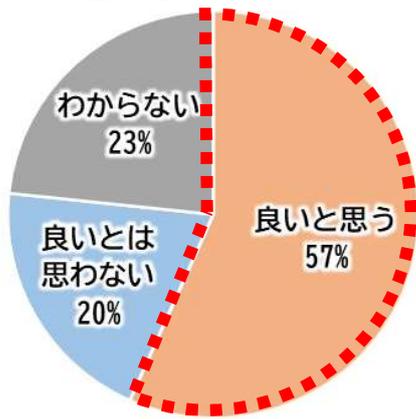
SEASON 1 と SEASON 2 を比較すると社会実験で困ったことがあったと回答された方が減少しました。

SEASON 2 では、約 4 割の方が困ったことがあったと回答されました。

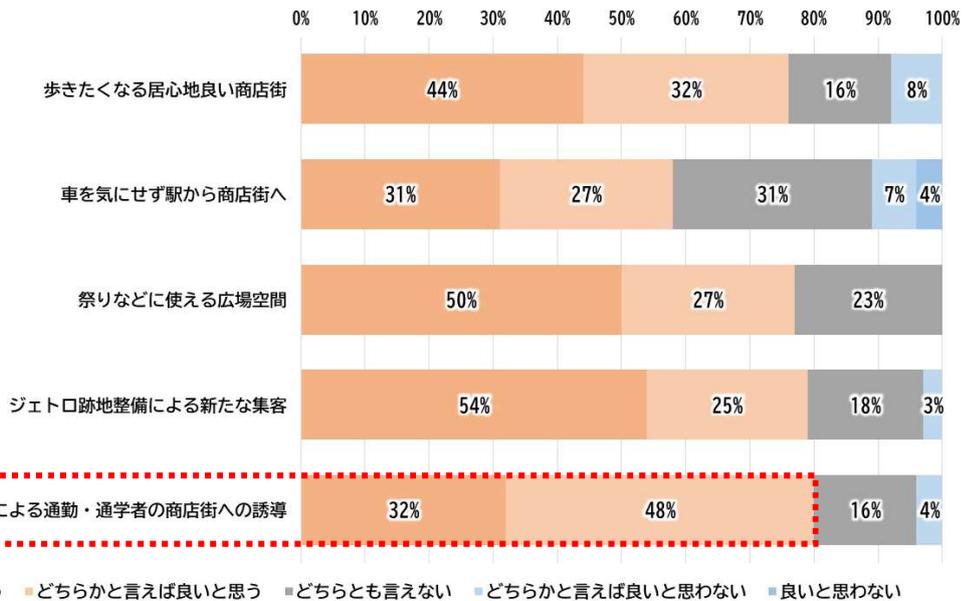
その具体的な内容は、「物品等の搬入・搬出に支障があった」「来店者から苦情があった」が多くなっていますが、SEASON 1 と比較すると減少しています。

〈再整備イメージについて〉

〈店舗営業者〉



〈各整備方針について〉



店舗営業者の方は、再整備エリアビジョンについて、全ての項目で約5割以上の方が「良いと思う」と回答されました。

その中でも、「送迎バス待機所設置による通勤・通学者の商店街への誘導」が良いと思う方が多くなっています。

4. 建物所有者アンケート

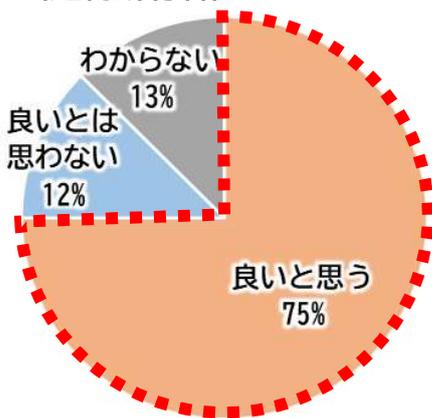
配布数：封筒42通

回収数：調査票16票

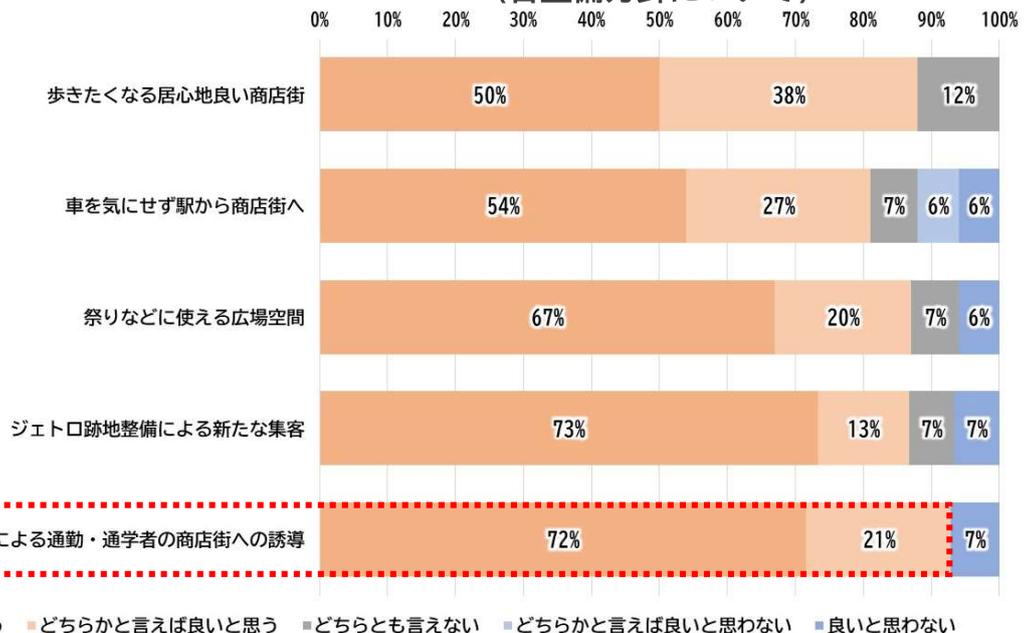
調査方法：建物所有者へ直接配布、郵送回収

〈再整備イメージについて〉

〈建物所有者〉



〈各整備方針について〉



建物所有者の方は、再整備エリアビジョンについて、全ての項目で約8割以上の方が「良いと思う」と回答されました。

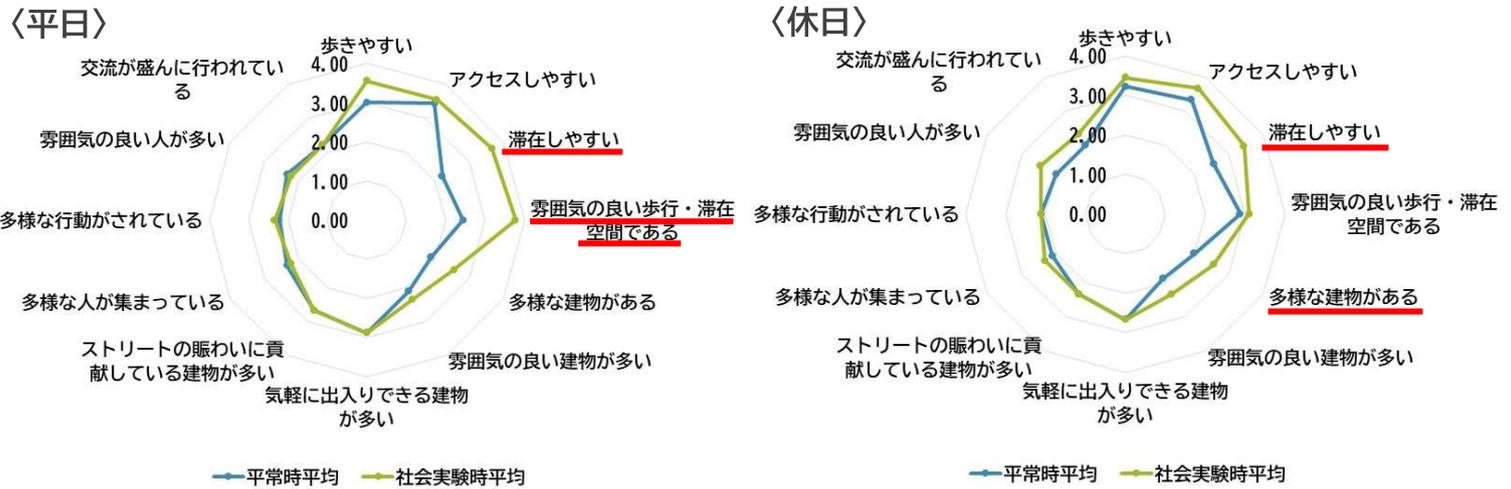
その中でも、「送迎バス待機所設置による通勤・通学者の商店街への誘導」が良いと思う方が多くなっています。

### 3) 居心地調査

国土交通省の「まちなかの居心地の良さを測る指標(案)」に基づき、居心地調査を実施しました。居心地調査とは、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかを形成するため、まちなかの状況を歩きながら把握し、来訪者の行動や感情を測る調査です。

通行者や滞在者の行動や快適性などを調査した総合評価は下記のグラフのようになっています。

#### 1. 商店街通りと沿道の環境に関する評価



プロジェクト実施により、平常時に比べて「滞在しやすい」「雰囲気の良い歩行・滞在空間である」が高い評価となりました。

平常時に比べ、全体的に評価が高くなりました。特に「滞在しやすい」「多様な建物がある」の評価が高くなりました。

#### 2. 商店街通りと沿道の魅力に関する評価



プロジェクト実施により、平常時に比べて「人との新しい出会いがありそう」「仕事をする場として使える」が高い評価となりました。

平常時に比べ、全体的に評価が高くなりました。特に「滞在したい」「歩きたくなる」「友達と来て楽しく過ごせる」の評価が高くなりました。

# 江戸川台イーストリートプロジェクトSEASON3について

江戸川台駅東口周辺地区の賑わいと魅力を創出するために、江戸川台駅東口商店街の道路を活用するプロジェクトの第3回目を実施しました。

## 1) プロジェクトの概要

江戸川台東口商店街の通りを歩行者専用道路化し、飲食のためのテーブル・イスなどを設置する空間づくりとして、「江戸川台イーストリートプロジェクトSEASON3」を5月14日（日）に実施しました。※5月13日（土）は雨天のため中止。

今回の社会実験では、賑わい創出のための取組のほか、別開催の「ながれやまオープンガーデン」（14日～16日）に合わせ、「イーストリートフラワーマーケット」と題し、花と緑で商店街通りを彩り、居心地の良い空間を創出しました。

## 2) 期間中の取組

### ①店舗がみちに滲み出すことで生まれる賑わい

・ キッチンカー・ 飲食



・ 物販店舗



上記は商店街が歩行者専用道路となった際に、商店街の店舗などの活動が道路上まで滲み出した場合をイメージして実施したものです。

多くの人が足を止め、時に列ができるなど、大きな賑わいを生んでいました。

これは、屋外で営業している店舗は歩行者にとって身近に感じられ、気軽に立ち寄ることができることが理由と推測しています。

### ②自由に歩ける・滞在できる道路に生まれる賑わい

・ テーブルの設置



・ 食べ歩き



・ ワークショップ開催



・ 江戸川台書店



道路上に滞在できる場所を作ることによって、自由にやりたいことができる空間としました。中には長時間滞在される方もいて、道路がただ「通行する」ためだけの空間ではなく、「時間を過ごす」場所として活用されました。

### ③居心地の良い空間の創出（みどりで彩られた商店街）

・ストリートファニーチャー

・みどりのあふれる商店街



今回の「花と緑」というテーマに合わせ、物販やワークショップについても花や緑に関係するものとなりました。

先述のとおり、「ながれやまオープンガーデン」に合わせたテーマ設定であるとともに、将来的に商店街通りに植栽を施した場合のイメージを示すことにもつながりました。

なお、植栽を設置するための什器（ストリートファニーチャー）は、設計から設置までの全てを東京理科大学創域理工学部建築学科の有志学生にお願いしました。

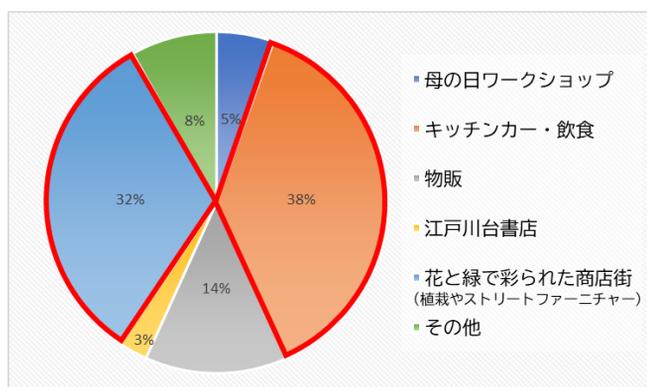
什器の作成にあたっては、学生自らが商店主と意見交換を行い、商店主の意向を反映させていました。

### 3) アンケート調査

今回の取組に合わせて、選択式のアンケート調査を実施しました。天候の都合で開催日が限られてしまったため回答数はあまり多くありませんが、今回の取り組みについて、来場者の皆様には概ね好意的に受け取られていたことがわかりました。

○アンケート結果（回答数：37件）

Q. 1 今回の取組みで、特に良かったものは何でしたか？



#### 年齢別

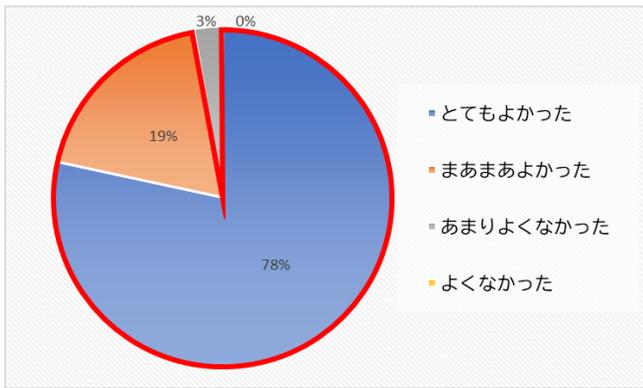
	20歳以下	20~39歳	40~59歳	60歳以上	合計
母の日ワークショップ	0	0	2	0	2
キッチンカー・飲食	0	6	5	3	14
物販	2	0	3	0	5
江戸川台書店	0	0	1	0	1
花と緑で彩られた商店街	1	1	8	2	12
その他	0	1	1	1	3
合計	3	8	20	6	37

今回の取組みにおいては、「キッチンカー・飲食」と「花と緑で彩られた商店街」の2項目が特に好意的に受け取られていました。

「キッチンカー・飲食」については、同日に開催されていた「ながれやまオープンガーデン」に参加するために江戸川台駅東口地区を訪れ、参加前後に食事や休憩をするために商店街に立ち寄った方が多かったことが要因と推測しています。

「花と緑で彩られた商店街」については、先述のとおり花や緑に関心が高い参加者層が多かったことや、ストリートファニーチャーが好評だったことなどが要因と推測しています。

## Q. 2 今回の取組みをどのように感じましたか？



### 年齢別

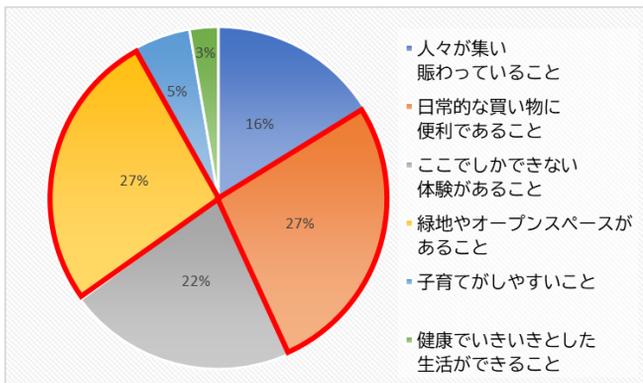
	20歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳以上	合計
とてもよかった	3	6	16	4	29
まあまあよかった	0	2	4	1	7
あまりよくなかった	0	0	0	1	1
よくなかった	0	0	0	0	0
合計	3	8	20	6	37

今回の取組みについては「とてもよかった」と「まあまあよかった」が約97%と、概ね好意的に受け止めていただいたものと考えています。

「あまりよくなかった」と回答していただいた方に詳しくお聞きしたところ、「社会実験の開催自体は良いが、そもそも何を目的とした社会実験なのかがわからない」というご意見をいただきました。

今後は、社会実験の周知方法を見直すほか、社会実験の結果報告についてのパネル展示を行うなど、プロジェクトを知っていただくための取組みを検討していきます。

## Q. 3 江戸川台駅東口エリアに求めるものは何ですか？



### 年齢別

	20歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳以上	合計
人々が集い賑わっていること	0	2	4	0	6
日常の買い物に便利であること	1	0	5	4	10
ここでしかできない体験があること	1	3	3	1	8
緑地やオープンスペースがあること	1	2	6	1	10
子育てがしやすいこと	0	1	1	0	2
健康でいきいきとした生活ができること	0	0	1	0	1
合計	3	8	20	6	37

江戸川台駅東口エリアに何を求めるかについては、「日常の買い物に便利であること」と「緑地やオープンスペースがあること」に多くの票が集まりましたが、その他の項目にも票が散らばっており、意見が大きく分かれる結果となりました。

「日常の買い物に便利であること」の具体的な意見については、本地域にあったスーパーマーケットが閉店してしまい、日常の買い物が不便になってしまったという声が多く寄せられました。商店街の店主からも、スーパーマーケットの閉店後、商店街の人通りが減ってしまったという意見もあり、日常の買い物需要への対応は、本地域の大きな課題の一つであると考えています。

「緑地やオープンスペースがあること」については、今回の社会実験のように、自由に過ごせる空間があることについての好意的な意見が多く寄せられました。

現状でも江戸川台駅周辺には公園や緑地が多数ありますが、道路についても同じように滞在しやすい場所の一つに位置付けることができれば、こういった需要にも対応できるものと考えています。

#### 4) 今後の課題について

---

これまで実施してきた社会実験を通じて、道路を歩行者専用道路とすることで、人々が道路に留まり、その結果として賑わいが生まれることが示されてきました。

更に、今回の社会実験では、将来的な道路整備時の方針の一つとして、植栽や統一性を持たせたストリートファニーチャーなどを設置することで多くの人が居心地が良いと感じていただける空間を作ることができ、それが利用者の満足度を高めることに繋がることもわかりました。

反面、社会実験の周知が不十分であったことや、社会実験の目的がまだまだ浸透しておらず、「道路でのイベント開催」として捉えられてしまっていることが課題であると考えています。今後は、これまでの社会実験の趣旨や検証結果を周知し、地元住民との合意形成を図りながら、商店街通りの将来的なあり方を引き続き検討していきます。